

ひらつかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM '87 3月号

3月の行事

3月			4月		
7		土 古文書講読会	10		金 星を見る会(月をみよう)
14		土 土曜観察会(水辺の自然観察)	11		土 土曜観察会(自然の新聞作り)
"		石仏を調べる会	"		石仏を調べる会
26～28		天体観察会(湯ヶ島)	12		日 自然観察会(春の曾我山を歩こう)
28		土 石仏を調べる会	19		日 相模川を歩く会ガイダンス
29		体験学習(拓本墨)			

○開館10周年記念特別展

—第1回平塚市博物館公募写真展—

期間：3月8日～4月8日

会場：博物館特別展示室

内容：優秀賞、入選作と、館所蔵の古い写真などを併せて展示します。

○寄贈品コーナー

—神明久保遺跡展—

期間：3月1日～29日

内容：昭和52年に行なわれた神明久保遺跡の出土品を展示します。市内沖積低地では初めて、奈良・平安時代の集落地が検出された所です。墨書き土器「大住」や「吉」、帶、土製カマドなど大変注目される資料です。

○プラネタリウム

—平塚の太陽—

私たちが生きている大もとのエネルギーは、太陽エネルギーです。地球の運動がもたらす太陽エネルギーの変化は、私たちの生活のリズムにもなっています。私たちが住む平塚での太陽の1年の変化を追ってみましょう。

期間 3月1日(土)から4月26日(日)まで

●体験学習「拓本墨を作ろう」

日時 3月29日(日)

場所 博物館科学教室

内容 物を写し取る方法として、古代より拓本があります。拓本墨を作り、実際に板碑、土器や高札などを写し取ります。

参加費 材料費代として700円。

募集人員 15名、参加多数の場合は抽選を行ないます。往復ハガキで3月15日(消印)までに申し込んで下さい。

●星を見る会「月を見よう」

月齢12、満月前の月面の、クレーターや海、光条などといったもようを観察します。

日時 4月10日(金)18時～20時

場所 博物館科学教室・屋上

参加自由

○自然観察会

—春の曾我山を歩こう—

日時 4月12日 9～16時 雨天中止

コース：国府津一曾我山一下曾我と歩きついでタンボボと春の野草などを観察します。

申込み：3月31日までに往復ハガキで。申込み多数の場合は抽選により30名まで。

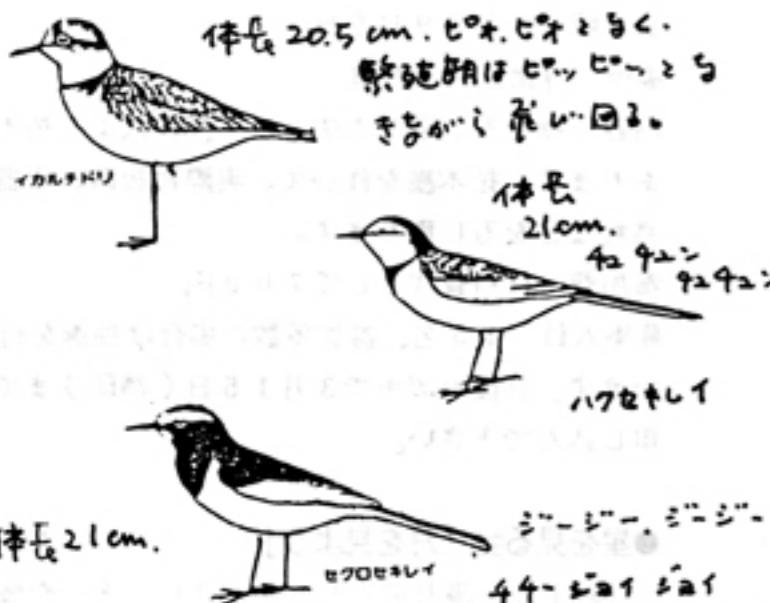
土曜観察会（金目川を歩く）

2月14日 14~17時

ふれあい小鳥の名前図鑑



20mを何歩で歩くか。その歩数が物差しになる。
この日金目川は、3つの橋（しののめ橋・かすみ橋・すいじん橋）で計測され記録カードに記された。



土手に出る。イカルトリ・セグロセキレイが遊んでいる。青い空を写した水が白く飛び散って輝やいた。水浴びしたのはハクセキレイだった。オレンジ色のボディに青いスパンコールをちりばめた上衣をひっかけて、水際の枯れ枝なんかにとまる、雀かもう一回り大きな鳥はカワセミである。枝から真さかさまにトボンと落ちて小魚をくわえ、飛び上ってさっと飲みこむ。食事作法まで小矜であった。口ばしが黒いと赤いと半だそうだ。やっぱりそうか！カルガモが二羽並んで流れに浮いていた。水辺の草地に浅い凹地をつくり卵を生む由だ

が何とも不用心すぎる。渡りをせず夏にも居るので夏カモともいうらしい。コサギが優雅に着水した。後頭部の冠毛があるかなしにそよぐ風情の可憐さを、何にたとえようか。ユリカモメも沢山群れている。ボディの白に銀色の羽根口ばしと足は紅をひいたように赤い。但しこれは冬羽のうちで夏羽になると黒褐色に変



「ツ-ル」、「ツ-ル」
なく。
カワセミ



カワセミ

声は
フニ
フニ。
カルガモ

体長
60.5cm



体長 61cm.
鳴声 2-コ-パ-,
コ-パ-コ-
なく。



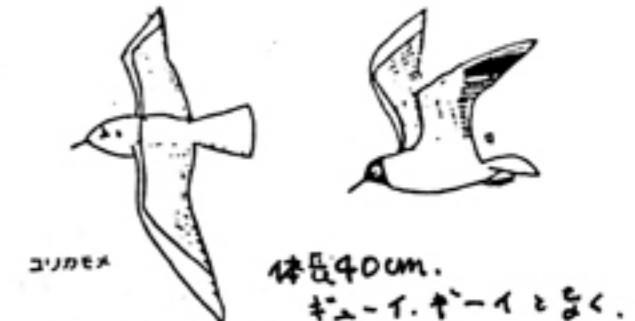
るという。金旭中学科学部の西ヶ谷先生が教えてくださった。葉平の詠んだ都鳥でもある。

鳥ばかり追って来たが観察会は植物にも昆虫にも目を注ぐ。木の枝に貝がら状の丸いものがくつついていた。これはイラガのまゆで、幼虫の毒棘にさわるとすごく痛い。浜口さんがてん



ナップザックを背負い、望遠鏡を胸にさげ、地図と記録カードとカメラを手に、足は履き馴れたズック靴なんかが最高。歩けば何でも見えてくる。

とう虫をつけ、すると油虫もいる筈だと樹皮の割れ目を探したらやっぱり居た。ユスリカも大群となって波のようにうねっている。体長は5ミリを出ないのでなかろうか。ある音程の音が好きで、それが鳴ると一斉に集まつてくると話して浜口さんがドレミファと唄いあげた。けどこの幼虫はアカムシ、アカボーフラだからこの辺水質汚濁がきびしいに違いない。金旭中科学クラブの方達が近く清掃奉仕をやって出るというが、汚さぬ智恵はないものだろうか。生きものでくれば小鳥たち



も人間も一緒なのに。前をゆく子に「あなたも出てください」というと「うん」と、素気ないが気負わない返事が返ってきた。

終着の水神橋についた。2時にしののめ橋を出ですでに3時間、日足が長くかたむき風がひやりとしてきた。ここで川巾をはかり最後のスケッチをする。浜口さんが「河原の草が横一列に縞状に連なっているのは、水際の移動によるものです。



こういうのも気をつけて見ておくといい」と結ばれた。次回は金目橋までその次は土屋橋までゆくという。一筋の川を寄辺として集い、食をあさり卵を抱き育てる小鳥たち虫たち、それを囲む草や木のただずまいを見たら、何がしかの感概を持つのが情。手始めは名前を知ることであろうか。(W)

暮らしの歴史

2(雇人の出替りの日):雇人はこの日家に帰り、再び働く人は彼岸頃に雇い主宅にゆく
3(節供、ひな祭):子ども達がつれだって見て回り、初節供の家では餅をついて祝った。
菱餅のはかアラレ・大豆・ピーナツ等を砂糖

でくるんだ豆炒りという菓子を供え、皆で食べた。今いひなあられのことか。こわれた古いひなはドンド焼き(セエトバライ)に焼く家も多いが、3日に川に流す家もあった。昭和30年代まで節供は4月3日に行う場合多かった。その頃までは海苔巻きや玉子焼きの寿司をつくって重箱につめ、ひなの前で食べたり女人連は小高い山に登って、桜の木の下などで食べた。この日タニシを煮て食べる事もあったという。

彼岸:寺と墓へ参る先祖供養の日、「入りボタ餅に明け団子、なかの中日小豆飯」「暑さ寒さも彼岸まで」と言われるよう、この日を限りに寒さも一段落し、春隣りの日射しが日毎につのってゆく。彼岸中はめでたい話、病氣見舞はさける。

社日(地神講):戦前は夜、順まわりの宿に集り、地神の掛け軸をかけて拝んだあと、飲食をし四方山話をして過した。この時無尽をし唐傘や小便桶などの農具をあてたという。宿を勤める家では講中宅を回って米五合を集め、そ

の費用でご馳走した。この地神講は太平洋戦争当時の物資不足から、やめた所が多い。

23か24(お地蔵さん):赤飯(小豆飯)、うま煮や里芋の煮たのを持って寺にゆき、念仏したり一杯やったりした。子ども達も寺へ握り飯を貰いにいった。

※ 彼岸の頃、都合のいい日をえらんで区長が触れを出し、部落総出で道普請をする所があった。

年間会員を新たに募集します

昭和62年度諸行事の発足に先立つて、次のように、年間会員を募集します。ご希望の方は各規程に従つて、お申込みください。いずれの場合も住所・氏名・電話番号を忘れずにお書きください。なお定員を越えた場合は、抽選させていただきますので、あらかじめ御承知おきください。

○相模川を歩く会

相模川を河口から水源（山中湖）に向かって、流域の自然や歴史、民俗にふれながら歩きます。
期間：4月19日～63年3月13日。毎月1回日曜日に行います。（4月19日にガイダンスを行います）

申込み：4月4日までに往復ハガキで、博物館相模川を歩く会係までお申込みください。

○石仏を調べる会

市内の社寺、路傍に建立されている石仏を調べて歩きます。今年度は横内地区から始めます。
期間：4月11日～63年3月19日。原則として毎月第2・第4土曜日の14～16時。
申込み：往復ハガキで4月2日（必着）までに博物館へお申込みください。新規会員10名募集。

○古文書講読会

近世（江戸時代）文書の読み方を学びながら、地域の歴史を知ろう。
日時：毎月第1・第3土曜日の14～16時。
場所：博物館講堂
申込み：高校生以上（年令明記）、4月20日までに往復ハガキで。定員30名。

○土曜観察会

テーマ：自然の新聞づくり
平塚周辺の丘陵・川・田畠などで、動植物の観察を行い、自然を題材にした新聞にまとめる。
日時：毎月第2、第4土曜日。14～16時。（時により変更の場合あり）
申込み：3月末日までに60円切手を同封して封書で申込んでください。折り返し予定表を送ります。なお第1回は4月11日に博物館でガイダンスを行います。

○天体観察会

星が良く見える所へ出かけて、流星群などの天文現象を観測したり、星座や天体を写真撮影し、そこから宇宙のしくみの一端を調べます。日程等詳しくは、博物館受付で配付中の案内書をごらんください。

募集対象：高校生以上の方を20名。
申込み：博物館受付で配布している用紙で、4月10日までに案内書の郵送を希望される方は、60円切手同封の上、天体観察会係あてお申込みください。

☆プラネタリウムからのお知らせ☆
3月26日（木）、4月2日（木）
14時に臨時に投影を行います。

たくさんの御応募を、お待ちしております。

Vol. II No. 12 通巻127号 印刷 平塚市総務部総務課文書係 ○3.500
「はくぶつかん」 発行 平塚市博物館 〒254 平塚市浅間町12-41 Tel.33-5111